

ビタミン生化学検査に対する死後変化の影響

1. 研究の対象

2020年9月～2023年3月に防衛医科大学校法医学講座で解剖（司法解剖または死因千調査解剖）となった方

2. 研究目的・方法

防衛医科大学校法医学講座において法医解剖を行い、血清が採取できた症例について、鑑定に必要な検査に使用した血液の残りについて、ビタミンA・B1・B6・B12・C・D・葉酸・ナイアシン・PIVKA-IIおよびアルブミン値を検査します。その結果について平均値や死後経過時間との関係性を検討します。

研究期間は2020年9月～2023年3月です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：解剖時に採取し使用した血液の残り

情報：解剖番号・年齢・性別・死因・身長・体重・死後経過時間等

研究データ取り扱い時には匿名化し、解剖番号等から個人が特定できないようにして取り扱います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校法医学講座 助教 細谷直（ほそや ただし）

埼玉県所沢市並木三丁目2番地

電話番号：04-2995-1583

メール：hosoya-t@ndmc.ac.jp

研究責任者：防衛医科大学校法医学講座 細谷直